

市政を問う!!

質問者

小野光明
五味東條
鈴木明子
永井泰仁
丸山寿子
金子勝寿
太田茂実
柴田博
山口恵子
中村努
永田公由

※本文は質問者自身の
原稿によるものです

一般質問の要旨

市民を守る 安全対策は

◆行政運営の今後の課題

問 異常気象などによる集中豪雨など災害対策は。(太田)

答 災害危険箇所や避難場所等をまとめたハザードマップを作成し全戸配布する。情報伝達の確保は行政無線を整備し、注意・避難等勧告を徹底する。

◆同報系行政無線の音達範囲
問 屋外スピーカーから音の届く範囲と放送内容は。(太田)

答 音達範囲は半径350mから500m。放送内容は災害発生の際、避難情報、災害事故情報、緊急の国からの放送等。

◆市民の安心安全確保を

問 防災公園整備と防災無線及びハザードマップの準備や



防災行政無線の子機



塩尻駅南側の県道トンネル

電柱取り付型避難場所誘導板の設置の考えは。(永井)

答 塩尻北部公園や小坂田公園を防災拠点施設として整備し、各学校も避難場所に指定してあり、防災公園は補完施設と考えている。防災行政無線は4月から運用開始の予定。ハザードマップは、住民が避難場所や避難経路を確認できるように来年度全戸配布の計画で準備中。民間活力による誘導板設置は、今後検討する。

◆トンネル内の安全対策を

問 塩尻駅北側、南側のトンネルは雨や雪でのスリップを経験した人が多く危険性が指摘されている。更なる安全対策が必要ではないか。(山口)

答 冬期間の安全対策では、除雪作業、融雪剤散布を行っている。トンネルという特殊な道路状況であるので今後、安全対策に努めていく。

健全財政の 堅持を

◆無駄ゼロの財政運営を

問 新年度予算案、広報印刷製本費について経費削減の考えは。広報誌月2回の発行を1回にという意見が多い。月刊化した場合の削減額と県内19市の発行状況は。(山口)

答 約400万円の削減になり、県内9市で実施、新年度から松本市も1回に変更するが、本市では2回発行していく。

◆子ども手当の影響は

問 全額国費で支給をすると言われていた子ども手当、新年度地方負担分はいくらになるか。今後受給者への影響はどうか。(山口)



子どもの健やかな成長を